

事務事業評価シート（1/2）

556 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0186
 評価年度 令和 4年度
 所属 1121
 事務事業番号 01058

進捗区分 評価完了
 環境部環境政策課
 環境保全市民運動推進事業

所属長名 小高 弥須夫
 記入者 荒木 幹昌

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	002	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	006	自然豊かな景観を守り育て、自然と共生するまちにします				
施策	015	自然環境の保全				
取組の方向性	001	琵琶湖を始めとする水環境の保全・再生				
事務事業	001	環境保全市民運動推進事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			

根拠法令等	大津市環境基本条例				
事業概要	(事業概要) 「琵琶湖を美しくする運動実践本部」が実施する琵琶湖市民清掃の支援、河川愛護団体に対する河川清掃用具の配布や情報提供等の活動、地域のヨシ保全事業の支援など、市民や事業者が自らの手で琵琶湖の美しさを保持するとともに快適な水辺環境の保全と創造が実現できるように市民運動の育成・支援をする。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 琵琶湖の保全をはじめ、地域の美化、環境保全につながる市民活動を支援することによる、市民・事業者・行政との協働の取り組みが求められている。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、各種市民活動への参加者に減少傾向が見受けられるが、一部に回復傾向が見受けられる状況にある。 (見直しや改善等の経過) 「大津市補助制度適正化基本方針」に基づき、補助率を見直すなど改善してきた。また、河川愛護事業については、各団体の高齢化に対応し、より広く活動を支援できるよう、大津市河川愛護団体連合会を解散し、今後、各種団体を直接支援するとともに、連合会未加入の団体も含め研修会や活動状況の広報などの支援を実施する。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民や事業者などを対象として
目的(何のために)	琵琶湖の美しさを保持し、琵琶湖岸、河川、公園、道路などの美化や清掃を行うため
手段(どのようなやり方で)	琵琶湖市民清掃の実施を支援し、広報等を通じて「琵琶湖を美しくする運動」の啓発活動を行い、河川愛護団体結成を促し定期的な河川清掃等の河川愛護活動、及び各地域のヨシ保全団体の活動を支援することで
成果(どのような状態にするのか)	多くの市民、事業者の参加を得て琵琶湖岸、河川、公園、道路等の公共的な場所の美化が図られるとともに、河川を軸とした新たな流域コミュニティ（川すじコミュニティ）が形成される

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	27,747	30,338	35,305	35,409	34,378	34,378	34,388
事業費	13,187	14,819	17,259	17,363	16,332	16,332	16,342
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	8,670	5,414	6,570	6,570	6,570	6,570	6,570
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	102	611	0	0	0	0	0
一般財源	4,415	8,794	10,689	10,793	9,762	9,762	9,772
人件費計	14,560	15,519	18,046	18,046	18,046	18,046	18,046
事務・技術(人)	1.82	1.93	2.25	2.25	2.25	2.25	2.25
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.15	0.16	0.16	0.16	0.16	0.16
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

557 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0186
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1121 環境部環境政策課
 事務事業番号 01058 環境保全市民運動推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-37-21-00-01-00	環境保全市民運動推進費	環境部環境政策課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)琵琶湖市民清掃実践本部加入団体数	団体	120.00	120.00	120.00	120.00	120.00	120.00	120.00
		123.00	123.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)河川清掃実施回数	回	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00
		627.00	853.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)琵琶湖市民清掃参加人数	人	72,000.00	72,000.00	72,000.00	72,000.00	72,000.00	72,000.00	72,000.00
		40,093.00	51,190.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)河川清掃等参加者数	人	20,000.00	20,000.00	20,000.00	20,000.00	20,000.00	20,000.00	20,000.00
		14,496.00	13,310.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	市民・事業者・行政の三者協働の観点から意義がある		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	環境保全意識の向上につながる協働の重要性が認識されている		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	大規模かつ効率的な環境保全に寄与している		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	環境保全に関する関心が高まっている		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた各市民活動については、事業実施回数が大幅に回復していることや参加者数についても一部回復傾向にあることから、徐々に復調の兆しが見受けられる。今後ともこれらの市民の環境保全活動の支援等を引き続き実施していくとともに、参加者数が減少傾向にあるものについては、現状を分析し、積極的な啓発等を行う。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	市民清掃、河川愛護活動などの市民自らが環境保全活動に取り組むことは重要かつ有意義である。新型コロナウイルス感染症の影響により市民清掃については、各学区において実施・中止の判断が分かれる結果となった。これらの経験を糧に当該事業について、住民自らが取り組む環境保全活動を継続的に維持できる仕組みを新たに提案する段階であると思われる。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1121 環境部環境政策課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 01058 環境保全市民運動推進事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)琵琶湖市民清掃実践本部加入団体数	団体	120.00	120.00	120.00	120.00	120.00	120.00	120.00
	指標説明	123.00	123.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		琵琶湖を美しくする運動実践本部参加団体数						
(活動)河川清掃実施回数	回	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00
	指標説明	627.00	853.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		各河川愛護団体が実施する河川清掃や川辺の花づくり作業実施回数						
(成果)琵琶湖市民清掃参加人数	人	72,000.00	72,000.00	72,000.00	72,000.00	72,000.00	72,000.00	72,000.00
	指標説明	40,093.00	51,190.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		琵琶湖市民清掃参加人数						
(成果)河川清掃等参加者数	人	20,000.00	20,000.00	20,000.00	20,000.00	20,000.00	20,000.00	20,000.00
	指標説明	14,496.00	13,310.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		各河川愛護団体が実施した清掃活動等に参加した人数						

事務事業評価シート（1/2）

559 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0187
 評価年度 令和 4年度
 所属 1121
 事務事業番号 01150

進捗区分 評価完了
 環境部環境政策課
 環境企画推進事業

所属長名 小高 弥須夫
 記入者 谷仲 昇

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	031	地球温暖化対策の推進				
取組の方向性	002	再生可能エネルギー等の利活用の推進				
事務事業	001	環境企画推進事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			

根拠法令等	地球温暖化対策の推進に関する法律、大津市環境基本条例				
事業概要	(事業概要) 大津市環境基本計画（第3次）に基づき、市民の省エネルギー推進のための各種事業や再生可能エネルギー普及の啓発等を実施する。また、市役所の事業活動に伴う環境負荷を低減するため、本市独自の環境マネジメントシステム（環境オームス）により取組を進める。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 国内の脱炭素社会への移行に向けた機運が高まる中で、国だけでなく地方自治体にも、省エネや地域の再エネを活用した施策等の加速化が求められている。 (見直しや改善等の経過) 大津市地球温暖化防止活動推進センターに委託して実施することにより温暖化対策に関して効率的・効果的な普及啓発に努めた。また、令和4年度においては、脱炭素施策の具体的な検討を進めるとともに、市有施設の省エネ化に向けた検討を進め、環境にやさしい大津市役所率先実行計画の電気使用量の削減目標を上方修正した。さらに、公用車としてEV車2台を試験的に導入するとともに、省エネ家電購入補助金を創設した。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民、事業者、市民団体に
目的(何のために)	大津市環境基本計画（第3次）に掲げる取組を推進するため
手段(どのようなやり方で)	ホームページや広報紙等による省エネルギー及び再生可能エネルギーの啓発、市民等の省エネルギーへの取組の支援を行うとともに、市が率先して取組を実施することにより
成果(どのような状態にするのか)	市民等の地球環境保全に対する理解を深め、計画に掲げる各種取組を着実に推進する。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	33,279	55,247	114,654	363,951	363,423	366,923	363,247
事業費	16,719	32,396	75,546	326,951	326,423	329,923	326,247
国庫支出金	0	10,701	18,266	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	29,100	266,400	266,400	266,400	266,400
その他	1,411	1,588	1,106	306	306	306	306
一般財源	15,308	20,107	27,074	60,245	59,717	63,217	59,541
人件費計	16,560	22,851	39,108	37,000	37,000	37,000	37,000
事務・技術(人)	2.07	2.87	4.68	4.68	4.68	4.68	4.68
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.15	0.84	0.16	0.16	0.16	0.16
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート (2/2)

560 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0187
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1121 環境部環境政策課
 事務事業番号 01150 環境企画推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-37-60-00-05-00	環境企画推進事業費	環境部環境政策課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)省エネルギー等 啓発回数	回	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00
		23.00	20.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)温室効果ガス削 減量 (2013年度比)	%	0.00	46.00	46.00	46.00	46.00	46.00	46.00
		0.00	41.67	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)エコライフデー の参加世帯数 (累計)	世帯	20,000.00	10,000.00	10,000.00	10,000.00	10,000.00	10,000.00	10,000.00
		14,003.00	103.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)住宅用太陽光発 電システム総能力	kW	84,000.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		44,080.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥 当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
	C あまり妥当ではない		
	D 妥当ではない		
評価理由	法により地方公共団体の責務とされているため		
2 有効性	事業分析の「成果」欄 に記載の成果は上がっ ているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
	C あまり上がっていない		
	D 上がっていない		
評価理由	環境基本計画の目標達成に向けて着実に成果が上がっているため		
3 効率性	事業手法は効率的であ るか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
	C あまり効率的でない		
	D 効率的でない		
評価理由	事業の多くを委託により遂行し、効果も表れているため		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献 しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
	C あまり貢献していない		
	D 貢献していない		
評価理由	継続的な普及啓発等により市民等の行動変容に寄与しているため		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	国、県の動向を注視しながら、大津市環境基本計画（第3次）に基づき、市有施設の照明設備のLED化を始めとした取組を市が率先して実行していくとともに、大津市地球温暖化防止活動推進センターと連携した市民・事業者への普及啓発の取組の更なる拡大を図るなど、同計画の目標の達成及び2050年カーボンニュートラルの実現に向けた取組を着実に推進していく。なお、定量評価のうちエコライフデー参加世帯数については、令和4年度に「おおつエコライフチャレンジ」のサイトを立ち上げ、実証実験を行い、今年度以後に本格実施することとしているため、令和4年度においては参加世帯数が大幅に減少しているが、今年度以後、同サイトを活用することにより、従来よりも多くの世帯の参加が期待できることから、同サイトの活用を促進し、効果的な普及啓発に努めていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	「大津市環境基本計画（第3次）」に基づき、「2050年カーボンニュートラル」の実現のため、地域脱炭素に係る取組を引き続き重点的に推進していくとともに、市有施設の照明設備のLED化の実施や省エネルギーの推進等を全庁共有の課題として全庁を挙げて推進するよう働きかけ、関連事業の円滑な遂行に努めていく。さらに、「おおつエコライフチャレンジ」事業の推進を始めとし、市民への効果的な普及啓発に努めていく。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1121 環境部環境政策課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 01150 環境企画推進事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)省エネルギー等啓発回数	回	15.00 23.00	15.00 20.00	15.00 0.00	15.00 0.00	15.00 0.00	15.00 0.00	15.00 0.00
	指標説明	広報紙等による市民向けの省エネ、地球温暖化防止等啓発回数						
(成果)温室効果ガス削減量 (2013年度比)	%	0.00 0.00	46.00 41.67	46.00 0.00	46.00 0.00	46.00 0.00	46.00 0.00	46.00 0.00
	指標説明	令和 4 年度から大津市環境基本計画 (第 3 次) の指標に合わせ、2013 年度の温室効果ガスの排出量を基準としたその削減割合を指標とする。実績値は前々年分の温室効果ガス排出量を基とした削減割合						
(成果)エコライフデーの参加世帯数 (累計)	世帯	20,000.00 14,003.00	10,000.00 103.00	10,000.00 0.00	10,000.00 0.00	10,000.00 0.00	10,000.00 0.00	10,000.00 0.00
	指標説明	令和 3 年度以前は平成 2 1 年度から令和 3 年度までのエコライフデーの累計参加世帯数 令和 4 年度以後は同年度から令和 1 2 年度までのエコライフデーの累計参加世帯数						
(成果)住宅用太陽光発電システム総能力	kW	84,000.00 44,080.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	住宅用太陽光発電システムの設置能力 (累計) 令和 4 年度以後は、温室効果ガス削減量に変更する。						

事務事業評価シート（1/2）

562 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0188
 評価年度 令和 4年度
 所属 1121
 事務事業番号 01190

進捗区分 評価完了
 環境部環境政策課
 環境人育成事業

所属長名 小高 弥須夫
 記入者 荒木 幹昌

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	002	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	006	自然豊かな景観を守り育て、自然と共生するまちにします				
施策	016	環境教育の推進				
取組の方向性	001	「環境人」の育成の推進				
事務事業	002	環境人育成事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	環境基本法、環境教育等促進法					

事業概要	(事業概要) 環境問題に関心を持ち豊かで快適な環境を創造していく人を育成するために、子どもの自然体験学習を充実させる。子どもと親・家族が豊かな本市の自然に学び、自然を楽しむ体験型環境教育を展開し環境にやさしく生きる力を持った「環境人」を育むことを目的として次の事業を実施する。 ・「自然環境保全」事業 ・「大津こども環境探偵団」事業 ・「指導者研修」事業					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 自然体験活動を望む声が多くなっており、本市の豊かな自然を生かした自然体験型環境学習により環境人を育むための機会の提供が求められている。 (見直しや改善等の経過) 「大津環境人を育む行動計画」の策定（平成29年度）を契機に、参加者の数によって実施回数を調整するなど事業内容の見直しを行った。令和3年度をもって環境学習活動実行委員会を解散し、令和4年度より大津市環境人育成推進懇話会を設置した。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	「自然環境保全」事業は子育て親子、こども環境探偵団事業は小学3年生～中学3年生、指導者研修事業は環境学習に携わる方を対象に					
目的(何のために)	人間の社会活動と環境の関わりにおいて、市民一人ひとりが深い理解と認識を持ち、各自が環境に配慮した生活・行動ができる「環境人」の育成を目的として					
手段(どのようなやり方で)	里、川、琵琶湖、山等のフィールドを利用した自然体験プログラムの実施（「自然環境保全」事業）、環境学習活動（大津こども環境探偵団事業）、及び研修支援（指導者研修事業）により					
成果(どのような状態にするのか)	「環境人」を育成し、環境問題に関心がある人が多い社会をつくる ※環境人とは、高い環境意識を有して積極的に環境行動を実践する人					

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	10,777	12,196	16,644	13,645	15,935	15,935	13,595
事業費	777	811	966	1,059	1,009	1,009	1,009
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	777	0	500	500	500	500	500
一般財源	0	811	466	559	509	509	509
人件費計	10,000	11,385	15,678	12,586	14,926	14,926	12,586
事務・技術(人)	1.25	1.40	2.01	1.55	1.85	1.85	1.55
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.15	0.00	0.16	0.16	0.16	0.16
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

563 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0188
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1121 環境部環境政策課
 事務事業番号 01190 環境人育成事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-37-21-00-02-00	環境人育成事業費	環境部環境政策課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 自然家族事業 開催回数	回	4.00	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00
		8.00	7.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 大津こども環 境探偵団環境学習回数	回数	6.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
		2.00	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 自然家族事業 参加者数	人	400.00	400.00	400.00	400.00	400.00	400.00	400.00
		148.00	221.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 大津こども環 境探偵団卒団生数	人	2,110.00	2,082.00	2,122.00	2,162.00	2,202.00	2,242.00	2,242.00
		2,042.00	2,087.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥 当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	環境教育等促進法に基づき当該事業を実施することは妥当である		
2 有効性	事業分析の「成果」欄 に記載の成果は上がっ ているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	アンケート結果から自然体験活動を継続していきたいとの回答が多		
3 効率性	事業手法は効率的であ るか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	テーマを絞った内容とすることで効率的に実施できている		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献 しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	参加者らが環境に関心を持ち、環境に配慮した行動を実践する		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	令和4年度に設置した大津市環境人育成推進懇話会の学識経験者等からの意見を取り入れることで指導者研修会事業の参加者の対象を、小学校、中学校、幼稚園の教諭とする等、従前より参加者の対象を広くするなどの発展した事業を進めることができた。今後も各事業について学識関係者の意見や、参加者の求めるニーズを鑑みて、事業を遂行する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	令和4年度においては新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで事業を実施、又は再開してきた。事業の参加者については積極的に参加を求めることができなかつたため、新年度においては5類移行を見越し、積極的な参加を求める等、より一層の啓発に努める。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1121 環境部環境政策課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 01190 環境人育成事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 自然家族事業 開催回数	回	4.00	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00
	指標説明	8.00	7.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
各年度の自然家族事業の事業開催回数、活動実績数								
(活動) 大津子ども環 境探偵団環境学習回数	回数	6.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
	指標説明	2.00	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
各年度の大津子ども環境探偵団環境学習事業の回数、活動実績数								
(成果) 自然家族事業 参加者数	人	400.00	400.00	400.00	400.00	400.00	400.00	400.00
	指標説明	148.00	221.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
各年度における自然家族事業の参加者数								
(成果) 大津子ども環 境探偵団卒団生数	人	2,110.00	2,082.00	2,122.00	2,162.00	2,202.00	2,242.00	2,242.00
	指標説明	2,042.00	2,087.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
各年度末の大津子ども環境探偵団卒団生数（第1期からの総数）								

事務事業評価シート（1/2）

565 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0189
 評価年度 令和 4年度
 所属 1703
 事務事業番号 01023

進捗区分 評価完了
 環境部廃棄物減量推進課
 し尿処理事業推進事業

所属長名 名島 靖磨
 記入者 内田 由紀

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	032	循環型社会形成の推進				
取組の方向性	002	適正処理の推進				
事務事業	004	し尿処理事業推進事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律					
事業概要	(事業概要) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、市内から排出されるし尿と浄化槽汚泥を適正に処理する。 また、16箇所の公衆便所を市民等が清潔で快適に利用できるよう維持管理に努めている。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) し尿・浄化槽汚泥は、下水道の普及に伴い収集量が減少を続けている。 (見直しや改善等の経過) 本市のし尿収集運搬事業は、一部地域を除いて許可制で事業継続してきたが、本市のし尿収集運搬事業を安定的に継続するため、この度の施設再編に合わせ全面委託化した。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民生活から排出されるし尿・浄化槽汚泥に対して
目的(何のために)	生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため
手段(どのようなやり方で)	し尿・浄化槽汚泥収集委託及び許可業者による収集運搬などの事業を推進して、適正処理を図ることにより
成果(どのような状態にするのか)	快適な市民生活を送れるようにする。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	86,994	147,469	155,771	158,847	157,591	157,591	157,591
事業費	70,424	131,415	139,717	142,793	141,537	141,537	141,537
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	34,589	64,067	66,201	66,326	66,131	66,151	66,376
一般財源	35,835	67,348	73,516	76,467	75,406	75,386	75,161
人件費計	16,570	16,054	16,054	16,054	16,054	16,054	16,054
事務・技術(人)	1.80	1.78	1.78	1.78	1.78	1.78	1.78
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

566 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0189
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1703 環境部廃棄物減量推進課
 事務事業番号 01023 し尿処理事業推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-30-21-00-10-00	し尿処理事業推進費	環境部廃棄物減量推進課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) し尿くみ取り・浄化槽人口	人	10,953.00	10,738.00	9,863.00	9,398.00	8,939.00	8,491.00	8,059.00
		11,019.00	10,792.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 公衆便所年間清掃回数	回/年	8,550.00	8,551.00	8,577.00	8,551.00	8,551.00	8,551.00	8,551.00
		8,550.00	8,578.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) し尿・浄化槽汚泥処理量	kg/日	29.66	30.71	29.00	27.00	26.00	25.00	24.00
		34.60	31.70	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 公衆便所利用回数	回/日	3,842.00	3,842.00	4,125.00	4,125.00	4,125.00	4,125.00	4,125.00
		3,876.00	4,125.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】		評価項目		評価の観点		基準		評価							
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A	妥当である	A	妥当である	A						
			B	ほぼ妥当である						A	ほぼ妥当である	A			
			C	あまり妥当ではない									A	あまり妥当ではない	A
			D	妥当ではない											
評価理由		廃棄物（し尿・浄化槽汚泥）の処理は市の責務である													
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A	上がっている	A	上がっている	A						
			B	やや上がっている						A	やや上がっている	A			
			C	あまり上がっていない									A	あまり上がっていない	A
			D	上がっていない											
評価理由		廃棄物の適正処理に努めることで生活環境の保全につながっている													
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A	効率的である	A	効率的である	A						
			B	やや効率的である						A	やや効率的である	A			
			C	あまり効率的でない									A	あまり効率的でない	A
			D	効率的でない											
評価理由		事業に精通した専門の業者により実施している													
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A	貢献している	A	貢献している	A						
			B	やや貢献している						A	やや貢献している	A			
			C	あまり貢献していない									A	あまり貢献していない	A
			D	貢献していない											
評価理由		市民の生活環境を守ることと関連が深く目標の達成に貢献している													
評価理由															

【所属評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	令和4年1月からし尿処理施設の再編に合わせ、し尿収集運搬事業は全面委託化を実施した。今後も本市のし尿収集運搬事業を安定的に継続するために計画通り事業を進めていく。		

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	し尿処理施設の再編（適正化）に伴い、令和4年1月より、し尿収集運搬事業の主体を市とした上で、民間委託化を行い、し尿処理（収集運搬及び処分）事業の最適化を図った。本事業の主要な業務である収集運搬費用は増加しているが、衛生処理場管理運営事業においては、施設運転経費の抑制が進むこととなる。今後も効率化並びに浄化槽の普及など他の取組みとも連携させながら生活環境の保全に努めていく。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1703 環境部廃棄物減量推進課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 01023 し尿処理事業推進事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) し尿くみ取り・浄化槽人口	人	10,953.00	10,738.00	9,863.00	9,398.00	8,939.00	8,491.00	8,059.00
	指標説明	11,019.00	10,792.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		し尿くみ取り・浄化槽人口						
(活動) 公衆便所年間清掃回数	回/年	8,550.00	8,551.00	8,577.00	8,551.00	8,551.00	8,551.00	8,551.00
	指標説明	8,550.00	8,578.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		1 6 箇所公衆便所年間清掃回数						
(成果) し尿・浄化槽汚泥処理量	kℓ/日	29.66	30.71	29.00	27.00	26.00	25.00	24.00
	指標説明	34.60	31.70	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		し尿・浄化槽汚泥施設処理量 (志賀衛生プラント・北部衛生プラント)						
(成果) 公衆便所利用回数	回/日	3,842.00	3,842.00	4,125.00	4,125.00	4,125.00	4,125.00	4,125.00
	指標説明	3,876.00	4,125.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		公衆便所利用回数 (年間水道使用量 ÷ 1 回あたり水道使用量平均 6ℓ)						

事務事業評価シート（1/2）

568 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0190
 評価年度 令和 4年度
 所属 1703
 事務事業番号 01153

進捗区分 評価完了
 環境部廃棄物減量推進課
 3 R 推進事業

所属長名 名島 靖磨
 記入者 白井 智浩

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	032	循環型社会形成の推進				
取組の方向性	001	ごみの減量と再資源化の推進				
事務事業	001	3 R 推進事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	循環型社会形成推進基本法 廃棄物処理法 大津市補助金等交付規則等					

事業概要	(事業概要) 市民会議である「ごみ減量と資源再利用推進会議」と協働したイベント開催や啓発活動、リサイクルセンター木戸における体験教室、啓発事業の実施、集団資源回収の促進支援及び生ごみ処理機等の購入支援、刈り草剪定枝の堆肥化処理などにより、3 R（発生抑制、再使用、再生利用）を推進する。					
------	--	--	--	--	--	--

事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 社会や経済の発展に伴い、生活が豊かになり大量生産・大量消費型であった社会経済システムを循環型社会形成推進基本法や各種リサイクル法等に基づき、3 Rを推進する循環型社会に転換していく必要がある。また、プラスチック資源循環法の施行により、プラスチックごみ対策の動向を注視していく必要がある。 (見直しや改善等の経過) 新型コロナウイルス感染症の影響によるごみ量の変化も落ち着きを見せ、家庭ごみは減少傾向に戻っている。リサイクルフェアも、2年ぶりに実施し、各種啓発活動にも、取り組むことができた。					
----------------------	--	--	--	--	--	--

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民及び事業所を対象にして					
目的(何のために)	大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会経済システムから3 Rを推進する循環型社会への転換を図るため					
手段(どのようなやり方で)	ごみ減量と資源再利用推進会議と協働したイベント開催や啓発活動、リサイクルセンター木戸での体験教室や啓発事業の実施、集団資源回収の促進支援及び生ごみ処理機等購入支援、刈り草剪定枝の堆肥化処理などにより					
成果(どのような状態にするのか)	市内における3 R（ごみの発生抑制、不用品の再使用、再生利用）を推進する。					

【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	190,127	118,505	123,274	153,681	136,631	145,951	124,631
事業費	134,954	69,983	85,086	120,195	103,145	112,465	91,145
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	80	62	228	86	86	86	86
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	46,273	27,531	33,508	37,978	37,978	37,978	37,978
一般財源	88,601	42,390	51,350	82,131	65,081	74,401	53,081
人件費計	55,173	48,522	38,188	33,486	33,486	33,486	33,486
事務・技術(人)	4.30	3.63	3.53	3.53	3.53	3.53	3.53
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	1.00	1.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	4.83	4.68	2.83	1.92	1.92	1.92	1.92
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

569 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0190
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1703 環境部廃棄物減量推進課
 事務事業番号 01153 3 R 推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-10-36-00-01-00	3 R 推進事業費	環境部廃棄物減量推進課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 集団資源回収団体数	団体	660.00	660.00	660.00	660.00	660.00	660.00	660.00
		615.00	611.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 生ごみ処理機等補助金申請件数	件	0.00	55.00	55.00	55.00	55.00	55.00	55.00
		0.00	138.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 生ごみ排出量（燃やせるごみ）	t	0.00	59,772.00	59,634.00	59,233.00	58,977.00	58,696.00	58,600.00
		0.00	56,727.53	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) リサイクルフェア来場者数（延べ人数）	人	1,360.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	ごみ減会議等と協働して進めている。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	対前年比で全体のごみ量が減少している。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	ごみ減会議等と協働して進めている。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	各種の啓発が、ごみの減量等に繋がっている。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	家庭系ごみ量が増加していたが、令和3年度に引き続き、令和4年度実績でも減少し、2年連続の減少となった。計画における目標値は、達成されているが、集団資源回収の普及促進を図る等、引き続きごみ減量を啓発していく必要がある。プラスチックごみに関しては、従前の分別収集方法を継続しているが、プラスチック資源循環促進法施行後の国、他の自治体、事業者の動向を注視し、検討を進めていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	本事業における様々な取り組みを基礎として、新たな一般廃棄物処理基本計画を令和4年度より開始した。当該計画に基づき、令和4年4月からびんの一括回収を行い、びんの資源化及び燃やせないごみの減量に繋げることができた。今後、プラスチック資源循環促進法の施行など、社会環境の変化を踏まえ有効な対策について検討を行うものとする。また、各取組みの推進にあたり、重要な市民理解を促すために市民団体などの緊密な連携に努める。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1703 環境部廃棄物減量推進課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 01153 3R推進事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 集団資源回収団体数	団体	660.00	660.00	660.00	660.00	660.00	660.00	660.00
	指標説明	615.00	611.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
当該年度後期(7月～12月)実施団体数								
(活動) 生ごみ処理機等補助金申請件数	件	0.00	55.00	55.00	55.00	55.00	55.00	55.00
	指標説明	0.00	138.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
過去5年の申請件数(生ごみ処理機+コンポスト) ※この指標はR4から								
(成果) 生ごみ排出量(燃やせるごみ)	t	0.00	59,772.00	59,634.00	59,233.00	58,977.00	58,696.00	58,600.00
	指標説明	0.00	56,727.53	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
一般廃棄物処理基本計画に基づく目標値 R4～家庭系燃やせるごみ量 ※この指標はR4から								
(活動) リサイクルフェア来場者数(延べ人数)	人	1,360.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人口34万人×2%が5回に1回参加見込み ※この指標はR3まで								
(成果) 燃やせるごみ、不燃ごみ、大型ごみ排出量	t	85,067.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	85,657.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
R4～一般廃棄物処理基本計画に基づく目標値 ※この指標はR3まで								
(成果) 資源化率	%	20.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	15.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
$(\text{直接資源化量} + \text{中間処理後再利用量} + \text{集団回収量}) / (\text{総ごみ量} + \text{集団回収})$ ※この指標はR3まで								

事務事業評価シート（1/2）

571 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0191
 評価年度 令和 4年度
 所属 1703
 事務事業番号 01154

進捗区分 評価完了
 環境部廃棄物減量推進課
 廃棄物適正処理事業

所属長名 名島 靖磨
 記入者 山本 英行

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画		
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります		
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし		
施策	032	循環型社会形成の推進		
取組の方向性	001	ごみの減量と再資源化の推進		
事務事業	002	廃棄物適正処理事業		
新規継続区分	継続			
運営方法	その他			
評価区分	対象	主な取組区分	対象	
根拠法令等	廃棄物処理法、美化条例・条例規則			

事業概要	(事業概要) 家庭から排出される一般廃棄物のステーション方式での定期的な収集運搬による適正処分と市内の事業所から排出される一般廃棄物の適正な処理を行う。
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 家庭系ごみ量については昨年に引き続き減少しており、事業系ごみ量については微増している。全体のごみ量は減少傾向にある。また、プラスチック資源循環促進法などの廃棄物を取り巻く法制度が充実・変化している。(見直しや改善等の経過) これまでから、ごみの収集分別の見直しや適正処理困難物の処理体制の整備などを行ってきた。また、令和4年4月からはビンごみの一括回収を開始した。

【事業分析】

対象(何又は誰を)	ごみステーションに排出された家庭ごみや不法投棄された家庭ごみ及び事業系ごみを
目的(何のために)	家庭ごみの確実な収集と不法投棄された廃タイヤ等の適正処理により生活環境を保全することや事業系ごみの適正な排出のために
手段(どのようなやり方で)	民間業者への委託や直営により適正に収集運搬及び処理し、不法投棄物については、排出者及び収集運搬許可業者等への指導等により
成果(どのような状態にするのか)	効率的で確実な収集体制の確保と家庭ごみ及び事業系ごみが不法投棄されず適正に排出される。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	1,315,773	1,318,073	1,350,657	1,354,580	1,353,221	1,354,221	1,415,221
事業費	1,265,014	1,266,326	1,288,770	1,292,693	1,291,334	1,292,334	1,353,334
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	109,398	77,207	64,393	64,523	64,393	64,523	64,393
一般財源	1,155,616	1,189,119	1,224,377	1,228,170	1,226,941	1,227,811	1,288,941
人件費計	50,759	51,747	61,887	61,887	61,887	61,887	61,887
事務・技術(人)	5.05	6.05	5.10	5.10	5.10	5.10	5.10
技能労務(人)	0.60	0.00	2.70	2.70	2.70	2.70	2.70
再任用(人)	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	1.69	1.47	1.47	1.47	1.47	1.47	1.47
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

572 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0191
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1703 環境部廃棄物減量推進課
 事務事業番号 01154 廃棄物適正処理事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-15-65-00-02-00	廃棄物適正処理事業費	環境部廃棄物減量推進課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 定期収集日数	日	310.00	310.00	310.00	283.00	257.00	257.00	257.00
		310.00	310.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 展開調査	回	3.00	3.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
		0.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 取り漏れ等の苦情件数	件数	90.00	55.00	55.00	55.00	55.00	55.00	55.00
		24.00	61.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 事業系ごみ量（臨時収集除く）	t	25,030.00	22,119.00	21,631.00	21,061.00	20,513.00	20,002.00	19,508.00
		22,415.00	22,628.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	廃棄物処理法において一般廃棄物の処理は市の責務であり妥当。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	廃棄物が適正に処理され、市民の生活環境の保全が図られている。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	委託などにより適正かつ効率的に収集運搬処分が実施できている。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	家庭ごみの適正な収集運搬や事業者等への指導等が実施できている		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	引続き、市の責務である一般廃棄物の処理を適正かつ効率的に実施するため、適正処理困難物の処理の継続を含め、法に規定する処理及び委託に関する基準に則した処理及び委託を実施する。なお、令和4年度からのびんの分別方法の変更に続き、プラスチック資源循環促進法への対応に向けた検討を進めていく。また、一般廃棄物処理基本計画に記載する家庭ごみ収集日数の見直しなど、今後もより良い収集体制の構築を目指し、改善検討を進めていく。事業系ごみについてはマニフェスト制度の見直しも視野に入れながら、処理施設での展開調査の実施等により不適正排出の防止を図り、ごみ量の減量に努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	ごみの減量及び再資源化の推進並びに生活環境の保全のため、家庭ごみの効率的かつ確実な収集運搬体制を確保するとともに、事業系ごみの適正処理及び減量の推進に努める。また、プラスチック製品廃棄物の分別収集や収集日数の見直しなどの検討を進める。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1703 環境部廃棄物減量推進課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 01154 廃棄物適正処理事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)定期収集日数	日	310.00	310.00	310.00	283.00	257.00	257.00	257.00
	指標説明	310.00	310.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
定期収集の延日数								
(活動)展開調査	回	3.00	3.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
	指標説明	0.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
処理施設での事業系ごみ収集車両に対する展開調査（美化センター、北部クリーンセンター）R2から直営で実施								
(成果)取り漏れ等の苦情件数	件数	90.00	55.00	55.00	55.00	55.00	55.00	55.00
	指標説明	24.00	61.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
実績値は収集係による回収件数								
(成果)事業系ごみ量（臨時収集除く）	t	25,030.00	22,119.00	21,631.00	21,061.00	20,513.00	20,002.00	19,508.00
	指標説明	22,415.00	22,628.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
R4～一般廃棄物処理基本計画に基づく目標値（事業系ごみ（臨時収集除く））								

事務事業評価シート（1/2）

574 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0192
 評価年度 令和 4年度
 所属 1710
 事務事業番号 01173

進捗区分 評価完了
 所属長名 大南 公彦
 記入者 新田 紳一郎

環境部産業廃棄物対策課
 廃棄物不適正処理対策事業

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	032	循環型社会形成の推進				
取組の方向性	003	不法投棄防止の推進				
事務事業	001	廃棄物不適正処理対策事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律					
事業概要	(事業概要) 監視パトロールの実施や啓発看板、監視カメラ等の設置により不法投棄等の未然防止を図るとともに、不法投棄等のおそれのある行為者に対し必要な指導を行う。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 廃棄物の適正処理に向けて、家電、食品、建設など個別物品のリサイクル法が制定され、市民にも廃棄物の減量化や資源化に関する意識が定着してきたことで、人の目が届くようなまちなかや住宅地における不法投棄事案の発生は減少しつつある。しかし、人通りの少ない道路や山間部においては、依然として建築廃材や一般廃棄物の不法投棄が多く発生している。 (見直しや改善等の経過) 不法投棄等監視員による監視エリアの拡大や業務委託することによって閉庁日における監視パトロールを導入するなど監視体制の強化を図っている。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	事業所又は家庭から排出される廃棄物について、
目的(何のために)	生活環境を清潔に保つために、
手段(どのようなやり方で)	適正に処理されるよう監視し、啓発を行うとともに、不適切な処理が確認された場合はその行為者に対し是正を求めることにより、
成果(どのような状態にするのか)	生活環境の保全及び公衆衛生の向上が図られる。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	76,138	77,027	66,751	66,099	66,194	66,410	66,410
事業費	7,608	6,842	8,220	7,568	7,663	7,879	7,879
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	1,850	1,850	1,850	1,850	1,850	1,850	1,850
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	24	24	24	24	24	24	24
一般財源	5,734	4,968	6,346	5,694	5,789	6,005	6,005
人件費計	68,530	70,185	58,531	58,531	58,531	58,531	58,531
事務・技術(人)	3.80	4.30	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
技能労務(人)	2.00	2.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
再任用(人)	2.00	2.00	1.80	1.80	1.80	1.80	1.80
会計年度任用(人)	4.30	3.95	3.41	3.41	3.41	3.41	3.41
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

575 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0192
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1710 環境部産業廃棄物対策課
 事務事業番号 01173 廃棄物不適正処理対策事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-07-05-00-10-00	廃棄物不適正処理対策事業費	環境部産業廃棄物対策課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)職員によるパトロール実施日数	日	230.00	230.00	230.00	230.00	230.00	230.00	230.00
		241.00	241.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)不法投棄に係る市民要望の解決率	%	80.00	80.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00
		89.80	92.76	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)現場確認箇所数 1出動あたり	箇所	15.00	15.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		16.00	16.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	法の所管は市である。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	不法投棄を防止することで生活環境は保全されている。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	早期発見に努めることで、早期解決を図れている。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	不法投棄を防止することで循環型社会形成の推進に貢献している。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	職員による監視パトロールの実施や地域住民の協力（不法投棄等監視員）を得て監視体制を継続することにより、廃棄物の不適正処理の早期発見・早期解決に努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	担当職員によるパトロール体制と巡回頻度の確保は概ね目標値を満足させることができ、市民からの通報案件に対する解決率も目標値を満たすこととなった。引き続き、不法投棄並びに土砂不適正処理事案の早期発見、早期解決を目指し、事案に適した有効な対策を講じていく。 また、関係を有する法令の改正に適應させるために土砂埋立て行為に対する規制のあり方については遺漏ないよう見直し対応を行うものとする。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1710 環境部産業廃棄物対策課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 01173 廃棄物不適正処理対策事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)職員によるパトロール実施日数	日	230.00 241.00	230.00 241.00	230.00 0.00	230.00 0.00	230.00 0.00	230.00 0.00	230.00 0.00
	指標説明	職員によるパトロールを実施した日数（土砂不適正処理事案パトロールを含む） ※「現場確認箇所数1出動あたり」の代わりとして、令和3年度分より活動指標に設定（R2実績239日）						
(成果)不法投棄に係る市民要望の解決率	%	80.00 89.80	80.00 92.76	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00
	指標説明	1ヶ月以内に不法投棄物を回収、撤去し、原状回復した件数/電話、メール等で寄せられた不法投棄に関する苦情件数						
(活動)現場確認箇所数1出動あたり	箇所	15.00 16.00	15.00 16.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	監視取締り対象現場への確認箇所（1出動当り延べ確認現場数） ※令和5年度以降は評価の対象としない。今後は「職員によるパトロール実施日数」を活動指標とする。						

事務事業評価シート（1/2）

577 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0193
 評価年度 令和 4年度
 所属 1707
 事務事業番号 01148

進捗区分 評価完了
 環境部環境施設課
 環境交流館管理運営事業

所属長名 梅野 博英
 記入者 島村 一哉

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	032	循環型社会形成の推進				
取組の方向性	002	適正処理の推進				
事務事業	032	環境交流館管理運営事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	大津市伊香立環境交流館条例					
事業概要	(事業概要) 廃棄物の減量化と循環型社会の形成に係る市民意識の高揚を図るとともに、地域コミュニティの活性化を図ることを目的とした施設の管理運営を行う。なお、平成23年度に利用実態に合わせ「伊香立リサイクルプラザ」から「伊香立環境交流館」へと改めた。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 廃棄物の減量化と循環型社会の形成に係る市民の意識の高揚を図るとともに、地域のコミュニティの活性化を図る場が求められている。この施設は、令和7年度をもって、新たな市民センターの改築に合わせて集約化されることとなった。 (見直しや改善等の経過) 平成23年度に利用実態に合わせ「伊香立リサイクルプラザ」から「伊香立環境交流館」へと改めた。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民を対象として
目的(何のために)	廃棄物の減量化と循環型社会の形成に係る市民意識の高揚を図るとともに、地域コミュニティの活性化を図るため
手段(どのようなやり方で)	コミュニティ活動のための場所を提供し、環境ポスター等による情報の提供と啓発を行うことで
成果(どのような状態にするのか)	地域コミュニティが活性化し、更なる地域環境の向上に繋がる。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	9,258	10,491	11,266	11,266	11,266	6,229	55,494
事業費	1,708	3,201	2,728	2,728	2,728	4,201	53,466
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	1	1	1	1	0	0
一般財源	1,707	3,200	2,727	2,727	2,727	4,201	53,466
人件費計	7,550	7,290	8,538	8,538	8,538	2,028	2,028
事務・技術(人)	0.13	0.10	0.26	0.26	0.26	0.26	0.26
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	2.10	2.10	2.10	2.10	2.10	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

578 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0193
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1707 環境部環境施設課
 事務事業番号 01148 環境交流館管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-20-30-00-01-00	環境交流館管理運営事業費	環境部施設整備課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)開設日数	日	296.00	299.00	296.00	295.00	298.00	0.00	0.00
		281.00	295.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)利用者数	人	6,500.00	6,500.00	6,500.00	6,500.00	6,500.00	0.00	0.00
		9,260.00	9,367.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	廃棄物の減量化と循環型社会の啓発及び地域コミュニティの場として活発な利用が図られるよう、引き続き館内のポスター掲示やHP掲載等による周知を図っていく。 利用者数については、地域外からの利用者の増加に伴うものと評価している。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	循環型社会の形成に係る市民意識の高揚と地域のまちづくりに貢献できる施設として、より多くの市民に利用してもらえるよう、適切な運営に努めていく。		

事務事業評価シート（1/2）

580 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0194
 評価年度 令和 4年度
 所属 1707
 事務事業番号 01164

進捗区分 評価完了
 環境部環境施設課
 地区環境整備事業費（北部クリーンセンター）

所属長名 梅野 博英
 記入者 島村 一哉

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	032	循環型社会形成の推進				
取組の方向性	002	適正処理の推進				
事務事業	011	地区環境整備事業費（北部クリーンセンター）				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 地方自治法					
事業概要	(事業概要) 大津市北部で排出される一般廃棄物を適正に収集し、処分することにより、北部地域の生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、北部クリーンセンターの運営を行っている。施設が立地する地域では、ごみ収集車が頻繁に走行するなど、他の地域にはない影響があるため、施設周辺地域がより住みやすい環境となるよう、市全体の水準に照らしつつ、課題に対する対策を講じている。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 施設が立地する地域では、他の地域とは異なる課題が存在する。そのため、引き続き課題解消に取り組んでいく必要がある。 (見直しや改善等の経過) 平成25年度に地区環境整備事業の在り方についての見直しを行い、市の行政活動に対する説明責任を果たすとともに、透明性や公平性をより高め、市民に理解が得られるよう適正な事業執行に努めている。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	伊香立学区自治連合会を対象として
目的(何のために)	北部クリーンセンターの円滑な運営のため
手段(どのようなやり方で)	直接事業や補助事業を実施することで
成果(どのような状態にするのか)	施設周辺地域のより住みやすい生活環境の実現を図り、北部クリーンセンターの円滑な運営を確保する。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	63,481	66,315	64,884	65,231	62,839	72,949	58,839
事業費	34,347	44,456	39,437	39,784	37,392	47,502	33,392
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	34,347	44,456	39,437	39,784	37,392	47,502	33,392
人件費計	29,134	21,859	25,447	25,447	25,447	25,447	25,447
事務・技術(人)	3.59	2.75	3.21	3.21	3.21	3.21	3.21
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
会計年度任用(人)	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

581 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0194
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1707 環境部環境施設課
 事務事業番号 01164 地区環境整備事業費（北部クリーンセンター）

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-20-26-00-01-00	地区環境整備事業費（北部クリーンセンター）	環境部施設整備課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 事業補助数	件	40.00	31.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00
		41.00	32.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 事業効率化指数	—	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		1.26	1.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	処理施設の設置及び運営のため、覚書に基づく事業の実施である。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	事業実施により周辺地域住民から理解を得られている。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	優先順位の高いものから順に事業を実施している。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	当該事業は市民の生活環境の保全と公衆衛生の向上に貢献している		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	施設が立地する地域では、ごみ収集車が頻繁に走行するなど、他の地域にはない影響があるため、施設周辺地域がより住みやすい環境となるよう、市全体の水準に照らしつつ、今後も課題に対する対策を講じていく。なお、令和4年度については、補助事業を中心に住民満足度を高めつつ、事業効率化指数をさらに高めることができた。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	ごみ処理施設周辺地域の生活環境の維持・向上を図り、補助制度を中心に地域住民の満足度を高め、地域の理解を得ることにより、市内一円の廃棄物処理行政の円滑な推進に努めていく。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1707 環境部環境施設課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 01164 地区環境整備事業費(北部クリーンセンター)

上段: 目標値 下段: 実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)事業補助数	件	40.00 41.00	31.00 32.00	40.00 0.00	40.00 0.00	40.00 0.00	40.00 0.00	40.00 0.00
	指標説明	年間支出事業補助件数						
(成果)事業効率化指数	—	1.00 1.26	1.00 1.29	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00
	指標説明	1事業あたり目標値÷1事業あたり実績値 数値が大きいほど安価に事業が実施できたこととなる						

事務事業評価シート（1/2）

583 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0195
 評価年度 令和 4年度
 所属 1707
 事務事業番号 01165

進捗区分 評価完了
 環境部環境施設課
 地区環境整備事業費（環境美化センター）

所属長名 梅野 博英
 記入者 島村 一哉

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	032	循環型社会形成の推進				
取組の方向性	002	適正処理の推進				
事務事業	012	地区環境整備事業費（環境美化センター）				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 地方自治法				
事業概要	<p>(事業概要) 大津市南部で排出される一般廃棄物を適正に収集し、処分することにより、南部地域の生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、環境美化センターの操業を行っている。施設が立地する地域では、ごみ収集車が頻繁に走行するなど、他の地域にはない影響があるため、施設周辺地域がより住みやすい環境となるよう、市全体の水準に照らしつつ、課題に対する対策を講じている。</p>				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境) 施設が立地する地域では、他の地域とは異なる課題が存在する。そのため、引き続き課題解消に取り組んでいく必要がある。 (見直しや改善等の経過) 平成25年度に地区環境整備事業の在り方についての見直しを行い、市の行政活動に対する説明責任を果たすとともに、透明性や公平性をより高め、市民に理解が得られるよう適正な事業執行に努めている。</p>				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	富士見学区自治連合会を対象として
目的(何のために)	環境美化センターの円滑な運営のため
手段(どのようなやり方で)	直接事業及び補助事業を実施することで
成果(どのような状態にするのか)	施設周辺地域のより住みやすい生活環境の実現を図り、環境美化センターの円滑な運営を確保する。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	38,042	47,119	42,687	53,687	54,687	62,687	52,687
事業費	30,828	36,102	29,720	40,720	41,720	49,720	39,720
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	30,828	36,102	29,720	40,720	41,720	49,720	39,720
人件費計	7,214	11,017	12,967	12,967	12,967	12,967	12,967
事務・技術(人)	0.85	1.36	1.61	1.61	1.61	1.61	1.61
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
会計年度任用(人)	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

584 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0195
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1707 環境部環境施設課
 事務事業番号 01165 地区環境整備事業費（環境美化センター）

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-20-26-00-04-00	地区環境整備事業費（環境美化センター）	環境部施設整備課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)事業補助数	件	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
		4.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)事業効率化指数	—	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		1.07	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	施設が立地する地域では、ごみ収集車が頻繁に走行するなど、他の地域にはない影響があるため、施設周辺地域がより住みやすい環境となるよう、市全体の水準に照らしつつ、今後も課題に対する対策を講じていく。 なお、令和4年度については、計画どおり補助事業が実施されたため、事業効率化指数は計画値どおりである。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	ごみ処理施設周辺地域の生活環境の維持・向上を図り、補助制度を中心に地域住民の満足度を高め、地域の理解を得ることにより、市内一円の廃棄物処理行政の円滑な推進に努めていく。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1707 環境部環境施設課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 01165 地区環境整備事業費（環境美化センター）

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)事業補助数	件	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
	指標説明	年間支出事業補助件数						
(成果)事業効率化指数	-	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	指標説明	4.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		1事業あたり目標値÷1事業あたり実績値 数値が大きいほど安価に事業が実施できたこととなる						

事務事業評価シート（1/2）

586 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0196
 評価年度 令和 4年度
 所属 1707
 事務事業番号 01166
 進捗区分 評価完了
 環境部環境施設課
 地区環境整備事業費（北部廃棄物最終処分場）

所属長名 梅野 博英
 記入者 島村 一哉

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	032	循環型社会形成の推進				
取組の方向性	002	適正処理の推進				
事務事業	013	地区環境整備事業費（北部廃棄物最終処分場）				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 地方自治法				
事業概要	<p>(事業概要) 大津市北部で排出される一般廃棄物を適正に収集し、処分することにより、北部地域の生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、北部廃棄物最終処分場の操業を行っている。施設が立地する地域では、最終処分場への搬入車両が頻繁に走行するなど、他の地域にはない影響があるため、施設周辺地域がより住みやすい環境となるよう、市全体の水準に照らしつつ、課題に対する対策を講じている。</p>				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境) 施設が立地する地域では、他の地域とは異なる課題が存在する。そのため、引き続き課題解消に取り組んでいく必要がある。 (見直しや改善等の経過) 平成25年度に地区環境整備事業の在り方についての見直しを行い、市の行政活動に対する説明責任を果たすとともに、透明性や公平性をより高め、市民に理解が得られるよう適正な事業執行に努めている。</p>				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	龍華自治会を対象として
目的(何のために)	北部廃棄物最終処分場の円滑な運営のため
手段(どのようなやり方で)	直接事業や補助事業を実施することで
成果(どのような状態にするのか)	施設周辺地域のより住みやすい生活環境の実現を図り、北部廃棄物最終処分場の円滑な運営を確保する。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	16,103	11,075	8,183	8,846	8,161	8,161	8,161
事業費	12,649	9,184	5,668	6,331	5,646	5,646	5,646
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	1	1	1	1	1	1
一般財源	12,648	9,183	5,667	6,330	5,645	5,645	5,645
人件費計	3,454	1,891	2,515	2,515	2,515	2,515	2,515
事務・技術(人)	0.38	0.19	0.27	0.27	0.27	0.27	0.27
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
会計年度任用(人)	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

587 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0196
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1707 環境部環境施設課
 事務事業番号 01166 地区環境整備事業費（北部廃棄物最終処分場）

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-25-41-00-01-00	地区環境整備事業費（北部廃棄物最終処分場）	環境部施設整備課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 事業補助数	件	2.00	3.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
		3.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 事業効率化指数	—	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		0.82	0.64	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	処理施設の設置及び運営のため、覚書に基づく事業の実施である		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	事業実施により周辺地域住民から理解が得られている		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	優先順位の高いものから順に事業を実施している		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	当該事業は市民の生活環境の保全と公衆衛生の向上に貢献している		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	施設が立地する地域では、最終処分場への搬入車両が頻繁に走行するなど、他の地域にはない影響があるため、施設周辺地域がより住みやすい環境となるよう、市全体の水準に照らしつつ、今後も課題に対する対策を講じていく。なお、令和4年度については、地元との合意の上、一部実施事業を見送ったため、事業効率化指数は計画値を下回っている。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	ごみ処理施設周辺地域の生活環境の維持・向上を図り、補助制度を中心に地域住民の満足度を高め、地域の理解を得ることにより、市内一円の廃棄物処理行政の円滑な推進に努めていく。		

事務事業評価シート（1/2）

589 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0197
 評価年度 令和 4年度
 所属 1707
 事務事業番号 01169
 進捗区分 評価完了
 環境部環境施設課
 地区環境整備事業（大田廃棄物最終処分場）

所属長名 梅野 博英
 記入者 島村 一哉

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	032	循環型社会形成の推進				
取組の方向性	002	適正処理の推進				
事務事業	015	地区環境整備事業（大田廃棄物最終処分場）				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 地方自治法				
事業概要	<p>(事業概要) 大津市南部で排出される一般廃棄物を適正に収集し、処分することにより、南部地域の生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、大田廃棄物最終処分場の操業を行っている。施設が立地する地域では、最終処分場への搬入車両が頻繁に走行するなど、他の地域にはない影響があるため、施設周辺地域がより住みやすい環境となるよう、市全体の水準に照らしつつ、課題に対する対策を講じている。</p>				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境) 施設が立地する地域では、他の地域とは異なる課題が存在する。そのため、引き続き課題解消に取り組んでいく必要がある。 (見直しや改善等の経過) 平成25年度に地区環境整備事業のあり方についての見直しを行い、市の行政活動に対する説明責任を果たすとともに、透明性や公平性をより高め、市民に理解が得られるよう適正な事業執行に努めている。</p>				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	大石学区自治連合会、曾束町自治会、小田原町自治会を対象として
目的(何のために)	大田廃棄物最終処分場の円滑な運営のため
手段(どのようなやり方で)	直接事業及び補助事業を実施することで
成果(どのような状態にするのか)	施設周辺地域のより住みやすい生活環境の実現を図り、大田廃棄物最終処分場の円滑な運営を確保する。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	30,138	36,143	43,776	44,421	63,065	38,126	44,626
事業費	13,964	12,334	20,435	21,080	39,724	14,785	21,285
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	13,964	12,334	20,435	21,080	39,724	14,785	21,285
人件費計	16,174	23,809	23,341	23,341	23,341	23,341	23,341
事務・技術(人)	1.97	3.00	2.94	2.94	2.94	2.94	2.94
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
会計年度任用(人)	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

590 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0197
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1707 環境部環境施設課
 事務事業番号 01169 地区環境整備事業（大田廃棄物最終処分場）

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-25-41-00-09-00	地区環境整備事業費（大田廃棄物最終処分場）	環境部施設整備課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 事業補助数	件	14.00	13.00	13.00	13.00	13.00	13.00	13.00
(成果) 事業効率化指数	—	6.00	11.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		0.43	0.85	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	処理施設の設置及び運営のため、覚書に基づく事業の実施である。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	事業実施により周辺地域住民から理解を得られている。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	優先順位の高いものから順に事業を実施している		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	当該事業は市民の生活環境の保全と公衆衛生の向上に貢献している		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	施設が立地する地域では、最終処分場への搬入車両が頻繁に走行するなど、他の地域にはない影響があるため、施設周辺地域がより住みやすい環境となるよう、市全体の水準に照らしつつ、今後も課題に対する対策を講じていく。なお、令和4年度については、地元との合意の上、一部実施事業を見直したため、事業効率化指数は計画値を下回っている。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	ごみ処理施設周辺地域の生活環境の維持・向上を図り、補助制度を中心に地域住民の満足度を高め、地域の理解を得ることにより、市内一円の廃棄物処理行政の円滑な推進に努めていく。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
所属 1707 環境部環境施設課
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
事務事業番号 01169 地区環境整備事業（大田廃棄物最終処分場）

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)事業補助数	件	14.00	13.00	13.00	13.00	13.00	13.00	13.00
指標説明		6.00	11.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		年間支出事業補助件数						
(成果)事業効率化指数	—	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
指標説明		0.43	0.85	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		1事業あたり目標値÷1事業あたり実績値 数値が大きいほど安価に事業が実施できたこととなる						

事務事業評価シート（1/2）

592 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0198
 評価年度 令和 4年度
 所属 1707
 事務事業番号 01170

進捗区分 評価完了
 環境部環境施設課
 地区環境整備事業（衛生プラント）

所属長名 梅野 博英
 記入者 島村 一哉

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	032	循環型社会形成の推進				
取組の方向性	002	適正処理の推進				
事務事業	016	地区環境整備事業（衛生プラント）				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 地方自治法				
事業概要	(事業概要) 大津市で排出されるし尿を適正に収集し、処分することにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図っている。施設が立地する地域では、し尿収集車が頻繁に走行するなど、他の地域にはない影響があるため、施設周辺地域がより住みやすい環境となるよう、市全体の水準に照らしつつ、課題に対する対策を講じている。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 施設が立地する地域では、他の地域とは異なる課題が存在する。そのため、引き続き課題解消に取り組んでいく必要がある。 (見直しや改善等の経過) 平成25年度に地区環境整備事業の在り方についての見直しを行い、市の行政活動に対する説明責任を果たすとともに、透明性や公平性をより高め、市民に理解が得られるよう適正な事業執行に努めている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	小松学区自治連合会、田上学区自治連合会、堂町自治会、白百合自治会の市民を対象として
目的(何のために)	衛生プラントの円滑な運営のため
手段(どのようなやり方で)	直接事業及び補助事業を実施することで
成果(どのような状態にするのか)	施設周辺地域のより住みやすい生活環境の実現を図り、衛生プラントの円滑な運営を確保する。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	17,724	2,689	3,730	3,730	3,730	3,730	3,730
事業費	10,510	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	10,510	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
人件費計	7,214	1,189	2,230	2,230	2,230	2,230	2,230
事務・技術(人)	0.85	0.10	0.27	0.27	0.27	0.27	0.27
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.05	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

593 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0198
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1707 環境部環境施設課
 事務事業番号 01170 地区環境整備事業（衛生プラント）

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-30-46-00-07-00	地区環境整備事業費（衛生プラント）	環境部施設整備課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 事業補助数	件	6.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		8.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 事業効率化指数	—	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		1.11	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	処理施設の設置及び運営のため、覚書に基づく事業の実施である。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	事業実施により周辺地域住民から理解を得られている。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	優先順位の高いものから順に事業を実施している。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	当該事業は市民の生活環境の保全と公衆衛生の向上に貢献している		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	し尿処理施設の再編に伴い、南部衛生プラントについては令和3年度末で操業を終了している。それに伴い補助事業についても令和3年度末をもって終了しており、現在、当該施設の跡地利用について地元と協議を進めている。また、志賀衛生プラントへの搬入量の増加の伴い、小松学区自治連合会と覚書を交換し、令和4年度から地区環境整備事業を実施している。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	施設機能の集約化を目的に、令和3年度末をもって操業を終えた南部衛生プラントについて、補助事業については、閉鎖とともに終了している。今後、有用な跡地利用を検討し、地域との協議を進める一方で、志賀衛生プラントの操業に伴う小松学区に対する振興補助については、覚書に従い適正に執行する。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1707 環境部環境施設課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 01170 地区環境整備事業（衛生プラント）上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)事業補助数	件	6.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		8.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
指標説明	年間支出事業補助件数							
(成果)事業効率化指数	—	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		1.11	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
指標説明	1事業あたり目標値÷1事業あたり実績値 数値が大きいほど安価に事業が実施できたこととなる							

事務事業評価シート（1/2）

595 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0199
 評価年度 令和 4年度
 所属 1702
 事務事業番号 01175

進捗区分 所属評価
 環境部環境美化センター
 じん芥焼却場管理事業

所属長名 原田 浩二
 記入者 清水 一義

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	032	循環型社会形成の推進				
取組の方向性	002	適正処理の推進				
事務事業	017	じん芥焼却場管理事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、ダイオキシン類対策特別措置法				
事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>20年間に及ぶ運営委託契約を踏まえ、特別目的会社による環境美化センター焼却施設・リサイクル施設の運営業務の履行状況を確認するため、市職員による定期並び随時のモニタリングを実施し、処理施設が持つ能力が適切に発揮され、大津市南部地域から発生する燃やせるごみ、燃やせないごみ、大型ごみの適正かつ円滑な処理及び、かん、びん、ペットボトルの資源化が図られるよう、特別目的会社に対する適正な運営管理上の指導監督を行う。</p>				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>ごみ処理事業は市民生活と直結しているため、市民の関心も高く、排ガス基準を遵守しながら施設を稼働させる重要性は大きい。並行して、ごみの分別・減量を推進することが社会的に求められている。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>DBO方式（公共が資金調達し、民間事業者に設計・施工・運営を一括して委託する方式）で整備を進めてきたごみ処理施設整備事業は令和5年3月に全ての施設が完成した。</p>				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	家庭から排出される燃やせるごみ、大型ごみほか及び事業系一般廃棄物の燃やせるごみ、大型ごみを
目的(何のために)	大津市環境美化センターに搬入されるごみの適正かつ円滑な処理及び資源化を実現するため
手段(どのようなやり方で)	焼却施設及びリサイクル施設の適正な運転で、規制基準や協定値を遵守し
成果(どのような状態にするのか)	安全かつ安定した運転操業を実施し、大津市南部区域から発生する一般廃棄物の適正な処理を図る

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	414,004	363,370	358,824	364,963	366,140	367,671	368,708
事業費	394,804	341,856	337,154	343,449	344,470	346,001	347,038
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	267,981	288,616	288,877	288,877	288,877	288,877	288,877
一般財源	126,823	53,240	48,277	54,572	55,593	57,124	58,161
人件費計	19,200	21,514	21,670	21,514	21,670	21,670	21,670
事務・技術(人)	2.40	2.48	2.50	2.48	2.50	2.50	2.50
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート (2/2)

596 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0199
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価
 所属 1702 環境部環境美化センター
 事務事業番号 01175 じん芥焼却場管理事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-20-71-00-01-00	環境美化センター管理運営事業費	環境部環境美化センター

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 月次モニタリング会議実施回数	回	0.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00
		0.00	12.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 焼却施設稼働率	%	0.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		0.00	97.81	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) ゴミ発電による電力使用率	%	0.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		0.00	97.53	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 資源ごみの処分率	%	0.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		0.00	99.61	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	廃棄物処理法において一般廃棄物の処理が市町村の責務である。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	計画どおり適正に安定してごみ処理及び再資源化を図っている。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	特別目的会社の管理運営により効率よく安定した操業ができた。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	円滑なごみ処理を継続することで、ごみの適正処理に貢献した。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	環境美化センターは、市民生活の維持に必要な不可欠なインフラであり、クリーンで快適な生活環境を保持するため、処理施設が持つ能力が適切に発揮し、一般廃棄物の適正かつ円滑な処理並びに資源化が図られるよう、特別目的会社に対する適正な運営管理上の指導監督をこれまでどおり行っていく。令和4年度については、運営業務の履行状況を確認するため、市職員による定期並び随時のモニタリングを適切に実施し、焼却施設並びにリサイクル施設とも安全かつ安定した操業が図れた。焼却施設は、機器の部品交換を要するため計画外停止となったが、ごみ処理に影響を及ぼすことはなかった。両施設の電力についても概ね発電した電力で賄ったが、令和5年度以降当センターと北部クリーンセンターの2施設間で自己託送制度を活用していく。なお、令和6年度以降の計画額のうち、ごみ処理施設管理運営業務に係る経費については物価変動を勘案し決定するものである。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	環境美化センターは、リサイクル施設、焼却施設に続き令和5年3月に玄関棟が完成したことから、環境学習の一環として施設見学の受入を令和5年4月より開始した。本施設は、良好な状態を常に保ち排ガス基準値を遵守し安定操業に努め、また、ごみ焼却時に発生する熱を利用し計画的に発電を行い、環境負荷の低減を図っていく。安心・快適な生活環境の保持並びに廃棄物の適正な処理を確保すべく、定期並び随時のモニタリングを実施し特別目的会社に対する適正な運営管理上の指導監督を行っていく。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度
 所属 1702
 総合計画 03
 事務事業番号 01175

進捗区分 所属評価
 環境部環境美化センター
 大津市総合計画 第2期実行計画
 じん芥焼却場管理事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)月次モニタリング会議実施回数	回	0.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00
	指標説明	令和3年度稼働焼却施設並びに令和2年度稼働リサイクル施設における月次モニタリング会議の実施※令和3年度より本格的に民間事業者による管理運営となったため、指標の見直しを図った。						
(活動)焼却施設稼働率	%	0.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	〔2炉年間運転実績日数／2炉年間運転計画日数〕×100 ※令和3年度稼働した新焼却施設対象※令和3年度より本格的に民間事業者による管理運営となったため、指標の見直しを図った。						
(成果)ごみ発電による電力使用率	%	0.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	〔ごみ発電による電力施設内利用日数／暦日数〕×100 ※令和3年度稼働した新焼却施設対象※令和3年度より本格的に民間事業者による管理運営となったため、指標の見直しを図った。						
(成果)資源ごみの処分率	%	0.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	〔資源ごみ処理量／資源ごみ搬入量〕×100 ※かん、びん、ペットボトル ※令和3年度より本格的に民間事業者による管理運営となったため、指標の見直しを図った。						
(活動)ごみ焼却量	トン	42,077.00 45,424.14	44,896.00 47,003.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	計画年間処理量〔令和4年度までとし、令和5年度以降は焼却施設稼働率を活用〕						
(成果)排ガス中のダイオキシンの濃度基準値遵守率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	排ガス1ノルマルリ्यूーブ中のダイオキシン類(単位10億分の1g)量、基準値=5ng/ノルマルリ्यूーブ ※令和3年度より1ng						
(成果)固化飛灰中のダイオキシンの濃度基準値遵守率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	飛灰1g中のダイオキシン類の量、基準値=3ng/g (直接適用なし)※令和3年度より適用						

事務事業評価シート（1/2）

598 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0200
 評価年度 令和 4年度
 所属 1702
 事務事業番号 01176

進捗区分 所属評価
 環境部環境美化センター
 不燃物処分事業 南部不燃物処分地管理事業

所属長名 原田 浩二
 記入者 林 豊治

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	032	循環型社会形成の推進				
取組の方向性	002	適正処理の推進				
事務事業	018	不燃物処分事業 南部不燃物処分地管理事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、ダイオキシン類対策特別特措法、水質汚濁防止法				
事業概要	(事業概要) 南部不燃物処分地は昭和57年7月から昭和62年6月まで、第二南部不燃物処分地は平成元年6月から平成6年7月まで埋立処分を行い、その後も浸出水処理施設の運転、維持管理に努めており、両処分地ともに浸出水の水質は、法令上の維持管理基準は満たし安定している。また、引き続き処分地の廃止に向け、水質や発生ガスの調査を行い適切な維持管理を行う。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 埋立処分は終了し、廃止に向けて適切に維持管理を行う必要がある。 (見直しや改善等の経過) 浸出水処理施設の適宜整備補修を行い維持管理に努め浸出水を安全に処理してきた。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	南部・第二南部不燃物浸出水処理施設について
目的(何のために)	不燃物処分地からの浸出水(汚水)を適正に処理するため
手段(どのようなやり方で)	浸出水処理施設の設備機器の点検、及び整備を計画的に実施し
成果(どのような状態にするのか)	施設の安定運転操業を図る

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	18,726	16,464	21,410	21,952	22,282	38,272	171,562
事業費	8,975	9,684	15,360	15,902	16,232	32,222	165,512
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	8,975	9,684	15,360	15,902	16,232	32,222	165,512
人件費計	9,751	6,780	6,050	6,050	6,050	6,050	6,050
事務・技術(人)	0.75	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55
技能労務(人)	0.00	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.10	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
会計年度任用(人)	1.21	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

599 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0200
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価
 所属 1702 環境部環境美化センター
 事務事業番号 01176 不燃物処分事業 南部不燃物処分地管理事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-25-76-00-04-00	南部不燃物処分地管理費	環境部環境美化センター

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)水質検査回数	回	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
		4.00	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)発生ガス検査回数	回	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
		3.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)水質基準値遵守率(COD・南部)	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)水質基準値遵守率(COD・第二南部)	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	放流水及び浸出水の水質については廃止基準に収まっているものの、未だに埋立地からのガス発生量が廃止基準に収まっていないため、引き続き監視するとともに、適正な維持管理に努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	引き続き南部不燃物処分地の埋立地のガス発生状況を注視しながら、廃止基準に適合するまで適正な維持管理に努める。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価
 所属 1702 環境部環境美化センター
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 01176 不燃物処分事業 南部不燃物処分地管理事業
 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)水質検査回数	回	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
	指標説明	4.00	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		浸出水及び処理水中のCOD、窒素等の年間測定回数						
(活動)発生ガス検査回数	回	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
	指標説明	3.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		発生ガスの量、質の年間測定回数						
(成果)水質基準値遵守率 (COD・南部)	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		処理水中のCOD基準値 = 20mg/l						
(成果)水質基準値遵守率 (COD・第二南部)	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		処理水中のCOD基準値 = 20mg/l						

事務事業評価シート（1/2）

601 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0201
 評価年度 令和 4年度
 所属 1702
 事務事業番号 01177

進捗区分 所属評価
 環境部環境美化センター
 大田廃棄物最終処分場管理事業

所属長名 原田 浩二
 記入者 林 豊治

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	032	循環型社会形成の推進				
取組の方向性	002	適正処理の推進				
事務事業	019	大田廃棄物最終処分場管理事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、ダイオキシン類対策特別特措法、水質汚濁防止法				
事業概要	(事業概要) 環境美化センターからの焼却灰、リサイクル施設からの破碎不燃物などを適正かつ円滑に埋立処分を行い、また埋立地から発生する浸出水を適正に処理する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 埋立搬入物や浸出水並びに処理水の水質など法律で定める基準はもとより、地元との協定を遵守し適正処理を行っている。また、定期的に地元に対して結果の報告を行っている。 (見直しや改善等の経過) 平成27年7月より、浸出水の処理は第2期水処理施設を主にした運転に切り替えることで費用の縮減を図っている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	焼却灰、破碎不燃物及び持ち込みの燃やせないごみを受け入れ、埋立処分場から発生する浸出水の処理等を
目的(何のために)	焼却灰等不燃性一般廃棄物を適正に最終処分し、良好な水環境を保つため
手段(どのようなやり方で)	最終処分場の構造基準、維持管理基準に基づき、埋立処分及び浸出水処理施設の適切な運転管理を実施し
成果(どのような状態にするのか)	①衛生的で安全な埋立処分②放流水（処理水）の水質基準値の遵守を図る

【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	63,446	85,560	86,554	87,494	90,769	91,569	90,769
事業費	52,436	67,280	72,334	73,274	76,549	77,349	76,549
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	291	251	219	219	219	219	219
一般財源	52,145	67,029	72,115	73,055	76,330	77,130	76,330
人件費計	11,010	18,280	14,220	14,220	14,220	14,220	14,220
事務・技術(人)	0.95	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
技能労務(人)	0.00	0.80	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.60	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80
会計年度任用(人)	1.10	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

602 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0201
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価
 所属 1702 環境部環境美化センター
 事務事業番号 01177 大田廃棄物最終処分場管理事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-25-76-00-06-00	大田廃棄物最終処分場管理費	環境部環境美化センター

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)水質検査回数	回	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00
(成果)水質基準値遵守率(COD)	%	12.00	12.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	埋立地（第1期、第2期）について、引き続き維持管理基準に基づき埋立処分を行う。また、汚水処理施設の適正な運転管理に努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	最終処分場の構造基準、維持管理基準に基づき、適正な埋立処分を継続するとともに、安定した汚水処理を図る。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価
 所属 1702 環境部環境美化センター
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 01177 大田廃棄物最終処分場管理事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)水質検査回数	回	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00
	指標説明	12.00 12.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00						
(成果)水質基準値遵守率 (COD)	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	100.00 100.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00						

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0202
 評価年度 令和 4年度
 所属 1702
 事務事業番号 02217

進捗区分 所属評価
 環境部環境美化センター
 中町淀町最終処分場管理運営事業

所属長名 原田 浩二
 記入者 浜崎 亨

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	032	循環型社会形成の推進				
取組の方向性	002	適正処理の推進				
事務事業	025	中町淀町最終処分場管理運営事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、ダイオキシン類対策特別特措法、水質汚濁防止法				
事業概要	(事業概要) 大石中町廃棄物最終処分場及び大石淀町廃棄物最終処分場から発生する浸出水を水処理施設で安全に処理する。 また、環境保全協定書に基づき最終処分場及び周辺の環境美化に努める。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 大石中町廃棄物最終処分場は平成10年度末、大石淀町廃棄物最終処分場は平成25年度末をもって埋立処分が終了し、現在、各施設において浸出水の適正処理を行っている。また、大石淀町廃棄物最終処分場は表層利用として大石淀グラウンドゴルフ場整備事業が進められている。 (見直しや改善等の経過) 大石中町廃棄物最終処分場については、埋立終了後、年月が経過しており、処理施設に流入する浸出水の水質が改善され良好な状態となっていることから、平成28年度より簡易処理に移行している。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	最終処分場から発生する浸出水について
目的(何のために)	最終処分場水処理施設を適正に維持管理するため
手段(どのようなやり方で)	最終処分場の構造基準、維持管理基準に基づき、浸出水処理施設の適正な運転管理を実施し
成果(どのような状態にするのか)	放流水（処理水）の環境保全協定値の遵守及び埋立地を含めた周辺の環境美化に努める

【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	51,291	60,547	63,014	69,829	69,829	69,829	69,829
事業費	46,268	55,729	59,336	66,151	66,151	66,151	66,151
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	46,268	55,729	59,336	66,151	66,151	66,151	66,151
人件費計	5,023	4,818	3,678	3,678	3,678	3,678	3,678
事務・技術(人)	0.50	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.33	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

605 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0202
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価
 所属 1702 環境部環境美化センター
 事務事業番号 02217 中町淀町最終処分場管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-25-76-00-11-00	中町淀町最終処分場管理運営事業費	環境部大津クリーンセンター

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)水質検査回数	回	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00
		12.00	12.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)COD、窒素等の水質基準値遵守率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)排水中のダイオキシン類濃度基準値遵守率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	中町污水処理施設については浸出水の水質が改善していることから簡易処理に移行し、引き続き、適正な運転管理に努めるとともに廃止に向けた協議を地元と進めていく。淀町最終処分場は、平成25年度末をもって埋立終了したが、引き続き污水処理施設の適正な運転管理に努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	中町及び淀町最終処分場については、引き続き適正な維持管理に努める。また、中町最終処分場については浸出水の水質が環境保全協定値を満足していることから、廃止を見据えた取組みを継続して実施していく。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価
 所属 1702 環境部環境美化センター
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 02217 中町淀町最終処分場管理運営事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)水質検査回数	回	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00
	指標説明	12.00	12.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		浸出原水及び処理水のCOD、窒素その他の年間測定回数						
(成果)COD、窒素等の水質基準値遵守率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		処理水質中のCODの基準値20mg/リットル 窒素の基準値10mg/リットル						
(成果)排水中のダイオキシン類濃度基準値遵守率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		処理水のダイオキシン類の量、基準値10pg-TEQ/リットル						

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0203
 評価年度 令和 4年度
 所属 1708
 事務事業番号 01180

進捗区分 部局評価
 環境部北部クリーンセンター
 北部クリーンセンター管理運営事業

所属長名 新野 道郎
 記入者 中野 高佳

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	032	循環型社会形成の推進				
取組の方向性	002	適正処理の推進				
事務事業	021	北部クリーンセンター管理運営事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	廃掃法、容り法、ダイオキシン類特措法				
事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>琵琶湖疏水以北で発生する燃やせるごみ、燃やせないごみ、大型ごみについて民間事業者（SPC）が運営する大津市北部クリーンセンター焼却施設・リサイクル施設に対して、それらの履行状況を確認するため、定期及び随時モニタリング等の適正な運営管理上の指導監督を行うとともに、大津市が直接運営する市内全域のプラスチック製容器包装類の受入を行う同容器資源化施設の管理を行う。</p>				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>ごみ処理事業は市民生活と直結しており、市民の関心も高く、排ガス基準を遵守しながら施設を稼働させる重要性は大きい。並行して、ごみの分別・減量を推進することが社会的に求められている。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>令和4年度から稼働した新施設は、民間事業者による管理運営として、ごみ焼却に伴う発電機による売電が可能となったことから大幅な管理委託費用の縮減が図れた。また、北部廃棄物最終処分場の延命化を図るため、北部クリーンセンターから発生する灰の持出先である大阪湾広域臨海環境整備センターへの搬出量を増量している。</p>				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	家庭から排出される一般廃棄物及び事業系一般廃棄物を
目的(何のために)	北部クリーンセンターに搬入されるごみを適正かつ円滑な処理及び資源化を実現するため
手段(どのようなやり方で)	焼却施設、リサイクル施設及びプラスチック容器資源化施設の適正な運転で、規制基準や協定値を遵守し、
成果(どのような状態にするのか)	安全かつ安定した運転操業を実施し、琵琶湖疏水以北で発生する一般廃棄物の適正な処理を図る。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	682,869	461,069	490,081	492,380	500,341	496,019	547,996
事業費	633,869	445,962	476,431	478,730	486,691	482,369	534,346
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	164,062	164,493	160,707	241,640	241,980	241,980	241,994
一般財源	469,807	281,469	315,724	237,090	244,711	240,389	292,352
人件費計	49,000	15,107	13,650	13,650	13,650	13,650	13,650
事務・技術(人)	2.10	1.75	1.75	1.75	1.75	1.75	1.75
技能労務(人)	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	4.00	0.47	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

608 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0203
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 部局評価
 所属 1708 環境部北部クリーンセンター
 事務事業番号 01180 北部クリーンセンター管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-20-71-00-02-00	北部クリーンセンター管理運営事業費	環境部北部クリーンセンター

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) ごみ焼却量	トン	41,370.00	39,387.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		35,530.47	34,825.90	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 資源ごみの搬入	トン	2,862.00	3,257.87	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		2,946.25	3,051.46	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 排ガス中のダイオキシン類濃度基準値遵守率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 飛灰処理物のダイオキシン類濃度基準値遵守率	%	0.00	0.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	北部クリーンセンターは、中間処理施設として民間事業者による運営のもと安全かつ安定した操業を図る。また、市として施設の運営業務の履行状況の確認をするためモニタリングを実施し、処理施設が持つ能力が発揮され、一般廃棄物の適正かつ円滑な処理と資源化が図れるよう運営管理上の指導監督を実施していく。 令和4年度より新焼却施設の稼働に伴い、令和3年度決算額と令和4年度決算額を比較すると大幅な減が図れた。なお、今後ごみの資源化が一般的となっていく中、新たに資源化量の推移等を評価指標とすることも検討していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	焼却施設、リサイクル施設は令和4年度からSPCによる管理運営となったことに伴い、市はそれが適正に行われているかをモニタリング会議を通じて定期的に指導監督をするとともに、市直営のプラスチック容器資源化施設については、関係法令等に照らして今後の管理運営のあり方について検討していく。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 部局評価
 所属 1708 環境部北部クリーンセンター
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 01180 北部クリーンセンター管理運営事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) ごみ焼却量	トン	41,370.00	39,387.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	164 t / 日 × 365 日 × 0.658 (稼働率) = 39.387 t						
(活動) 資源ごみの搬入	トン	2,862.00	3,257.87	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	かん、びん、ペットボトル及びプラスチック容器の搬入量 (目標値は、第10期分別収集計画による)						
(成果) 排ガス中のダイオキシン類濃度基準値遵守率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	排ガス 1 m ³ N 中に含まれるダイオキシン類の量 (1 ng は 1 0 億分の 1)、基準値 = 1 ng / m ³ N 以下						
(成果) 飛灰処理物のダイオキシン類濃度基準値遵守率	%	0.00	0.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	飛灰 1 g 中のダイオキシン類の量、基準値 = 3 ng / g						
(成果) 資源ごみの処理率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	資源ごみの処理量 ÷ 資源ごみの搬入量						
(活動) 月次モニタリング会議実施回数	回	0.00	0.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00
	指標説明	本格稼働した施設の月次モニタリング会議の実施 ※令和4年7月から本格的に民間事業者による管理運営となったため、指標の見直しを図った。						
(活動) 焼却施設稼働率	%	0.00	0.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	[2 炉年間運転実績日数 / 2 炉年間運転計画日数] × 100 ※令和4年7月から本格的に民間事業者による管理運営となったため、指標の見直しを図った。						
(成果) ごみ発電による電力使用率	%	0.00	0.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	[ごみ発電による電力施設内利用日数 / 暦日数] × 100 ※令和4年7月から本格的に民間事業者による管理運営となったため、指標の見直しを図った。						

事務事業評価シート（1/2）

610 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0204
 評価年度 令和 4年度
 所属 1708
 事務事業番号 01181

進捗区分 部局評価
 環境部北部クリーンセンター
 一般廃棄物最終処分場管理運営事業

所属長名 新野 道郎
 記入者 川村 与志治

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	032	循環型社会形成の推進				
取組の方向性	002	適正処理の推進				
事務事業	022	一般廃棄物最終処分場管理運営事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、下水道法					
事業概要	(事業概要) 北部クリーンセンターから排出される焼却灰、飛灰処理物、破碎不燃物及び琵琶湖疏水以北から排出される持ち込みの燃やせないごみの適正かつ円滑な埋立処分を行う。また、処分場から発生する浸出水を水処理施設で安全に処理するための適正な施設管理を行う。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 今日までの「ごみ減量施策」の実施によりごみ量が減少してきたが、近年では下げ止まり傾向である。なお、引き続き施設の延命化を図るため、処分場への搬入量計画を見直したところである。 (見直しや改善等の経過) 令和元年からの土堰堤工事築造について、高さを変更（2.5m→1.25m）し、ごみの埋立枠を増加させ、処分場が延命できるよう見直し、少ない経費で最大限の効力を発揮できるよう改善した。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	焼却灰、飛灰処理物、破碎不燃物（破碎処理残渣）及び持ち込みの燃やせないごみを
目的(何のために)	北部最終処分場に搬入される一般廃棄物及び焼却灰等を適正かつ円滑に処理するため
手段(どのようなやり方で)	①最終処分場の構造基準、維持管理基準に基づく埋立処分及び浸出水処理施設の適正な運転管理で、②水質等の規制基準を遵守し
成果(どのような状態にするのか)	①清潔で安全な埋立処分を実施し、②放流水（処理水）の水質基準値を遵守する

【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	61,687	65,786	62,147	60,530	60,230	60,530	60,230
事業費	39,047	44,880	41,241	39,624	39,324	39,624	39,324
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	281	341	370	370	370	370	370
一般財源	38,766	44,539	40,871	39,254	38,954	39,254	38,954
人件費計	22,640	20,906	20,906	20,906	20,906	20,906	20,906
事務・技術(人)	1.33	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
会計年度任用(人)	2.00	1.76	1.76	1.76	1.76	1.76	1.76
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0204
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 部局評価
 所属 1708 環境部北部クリーンセンター
 事務事業番号 01181 一般廃棄物最終処分場管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-25-76-00-07-00	北部廃棄物最終処分場管理運営事業費	環境部北部クリーンセンター

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 焼却灰、破碎不燃物等の埋立量	m ³	5,400.00	5,400.00	3,000.00	3,000.00	3,000.00	3,000.00	3,000.00
		4,071.00	4,154.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 水質検査実施回数	回	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00
		12.00	12.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 水質検査結果下水道排除基準遵守率	%	0.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		0.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 排水中のダイオキシン類濃度基準値遵守率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	最終処分場への埋立処分を適切に行うとともに、老朽化した汚水処理施設の適正管理を踏まえて管理運営を維持していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	引き続き適正な埋立処分を継続するとともに、浸出水処理施設の適正かつ効果的な運用により、安定した汚水処理を推進していく。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 部局評価
 所属 1708 環境部北部クリーンセンター
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 01181 一般廃棄物最終処分場管理運営事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 焼却灰、破砕不燃物等の埋立量	m ³	5,400.00	5,400.00	3,000.00	3,000.00	3,000.00	3,000.00	3,000.00
	指標説明	4,071.00	4,154.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
焼却灰、破砕不燃物等の埋立量。なお令和5年度よりフェニックスへの搬出量を増加(1,500t→3,000t)させため目標値を変更している。								
(活動) 水質検査実施回数	回	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00
	指標説明	12.00	12.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
浸出水中のCOD、窒素その他の年間測定回数								
(成果) 水質検査結果下水道排除基準遵守率	%	0.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	0.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
下水道排除基準(COD)※令和4年度から、活動指標の水質検査実施回数と内容が同等であったため、水質検査結果の指標へと変更する。								
(成果) 排水中のダイオキシン類濃度基準値遵守率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
処理水1㍴中のダイオキシン類の量(pgは1兆分の1g)、基準値=10pg/㍴以下								
(成果) 水質検査実施率	%	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
浸出水の状態を常に把握し、適正な水質管理を行うため水質検査を定期的を実施する。※令和4年度から、活動指標の水質検査実施回数と内容が同等であったため、水質検査結果の指標へと変更する。								

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0205
 評価年度 令和 4年度
 所属 1708
 事務事業番号 02622

進捗区分 部局評価
 環境部北部クリーンセンター
 美化清掃事業

所属長名 新野 道郎
 記入者 福嶋 真

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	032	循環型社会形成の推進				
取組の方向性	002	適正処理の推進				
事務事業	027	美化清掃事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	大津市廃棄物の処理及び再利用の促進並びに環境の美化に関する条例				
事業概要	(事業概要) 自治会や各種団体等による美化活動に伴うごみの収集、小・中学校、支所等に設置されている使用済乾電池回収箱からの乾電池収集、犬・猫等動物死体の収集業務（委託）、刈草剪定枝の堆肥化により生じた堆肥の市内3か所の配布場所への運搬等を行う。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 自治会等による美化活動の実施や道路上の動物死体の迅速な通報など、市民の環境保全に対する意識の高まりがある。 (見直しや改善等の経過) 職員自らが主体的に担ってきたごみ収集業務について外部委託化を進めてきた一方で、地域の美化活動のほか、地域におけるごみをめぐる課題についてきめ細かく対応するため、人員と車両の配置を行い、直営での収集が可能な体制を整えてきた。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	美化活動等に伴うごみ、廃乾電池の資源ごみ、また、動物の死体を
目的(何のために)	生活環境の美化及びごみの減量・再資源化を図るため
手段(どのようなやり方で)	収集係職員及び委託業者（動物死体に限る。）が、じん芥収集車等で迅速に収集を行い
成果(どのような状態にするのか)	生活環境の保全及び公衆衛生の向上に努め、環境保全を図る。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	36,862	44,310	50,363	50,563	50,563	50,563	50,563
事業費	12,854	11,089	15,489	15,689	15,689	15,689	15,689
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	735	653	730	730	730	730	730
一般財源	12,119	10,436	14,759	14,959	14,959	14,959	14,959
人件費計	24,008	33,221	34,874	34,874	34,874	34,874	34,874
事務・技術(人)	0.10	0.17	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
技能労務(人)	2.40	3.75	3.24	3.24	3.24	3.24	3.24
再任用(人)	0.80	1.08	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50
会計年度任用(人)	0.88	0.44	0.44	0.44	0.44	0.44	0.44
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0205
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 部局評価
 所属 1708 環境部北部クリーンセンター
 事務事業番号 02622 美化清掃事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-15-65-00-05-00	美化清掃事業費	環境部北部クリーンセンター

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)美化活動に伴うごみ等の直営収集量	t	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00
		165.00	163.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)動物死体の収集数	体	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00
		999.00	868.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)収集応需率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	廃棄物処理法を順守し市が主体となって事業を実施している		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	速やかに収集対応により、地域の環境保全に貢献している		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	業務内容により民間委託と直営を使い分けている		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	環境保全及び市民サービスの観点から、本事業の持つ意義は大きい		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	生活環境の美化や公衆衛生の保全のため、創意工夫しながら事業に取り組んできたところである。市民からの美化活動に伴うごみ直営収集、動物死体の収集依頼等要望を受けた当日対応を基本としてきたこともあり、結果として指標に定める目標値(収集量・数)に対する実績値は下回っているものの、100%の対応はできている。今後は、収集量等の推移を情報分析し、これらに臨機応変かつより迅速に収集対応できるよう、環境整備員の増員や配置替等を行うことにより、市民サービスの更なる向上を図り当該事業を推進する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	生活環境の保全及び公衆衛生の向上のため、引き続き、きめ細やかで迅速な収集対応により、市民サービスの充実に努め、事業のより円滑な推進を図っていく。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 部局評価
所属 1708 環境部北部クリーンセンター
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
事務事業番号 02622 美化清掃事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)美化活動に伴うごみ等の直営収集量	t	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00
	指標説明	165.00 163.00 0.00 0.00 0.00 0.00 美化活動に伴うごみ、苦情、廃乾電池等の直営収集量						
(活動)動物死体の収集数	体	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00
	指標説明	999.00 868.00 0.00 0.00 0.00 0.00 飼犬、飼猫等のペット、野良犬、野良猫等の動物死体の収集数						
(成果)収集応需率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	100.00 100.00 0.00 0.00 0.00 0.00 市民からのごみ等収集需要に対する応需率						

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0206
 評価年度 令和 4年度
 所属 1708
 事務事業番号 04191

進捗区分 部局評価
 環境部北部クリーンセンター
 資源物等適正処理事業

所属長名 新野 道郎
 記入者 新野 道郎

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	032	循環型社会形成の推進				
取組の方向性	001	ごみの減量と再資源化の推進				
事務事業	003	資源物等適正処理事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	廃棄物処理法、美化条例・施行規則					
事業概要	市内から排出される一般廃棄物を中間処理施設等において資源化等を実施することにより、適正な処理に資するものとする。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 社会や経済の発展に伴い、生活が豊かになり大量生産・大量消費型であった社会経済システムを循環型社会形成推進基本法や各種リサイクル法等に基づき、3Rを推進する循環型社会に転換していく必要がある。 (見直しや改善等の経過) これまでから、ごみの収集分別の見直しを行ってきた。また、令和4年4月からはビンごみの一括回収を開始した。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	中間処理施設に搬入される一般廃棄物を
目的(何のために)	リサイクルを推進する循環型社会への転換を図るために
手段(どのようなやり方で)	民間業者等への委託等により
成果(どのような状態にするのか)	個々の廃棄物に応じた効率的で確実な処理体制が確保される。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	0	18,579	20,629	20,759	20,759	20,759	20,759
事業費	0	7,870	9,187	9,317	9,317	9,317	9,317
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	7,870	9,187	9,317	9,317	9,317	9,317
一般財源	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	0	10,709	11,442	11,442	11,442	11,442	11,442
事務・技術(人)	0.00	0.17	0.58	0.58	0.58	0.58	0.58
技能労務(人)	0.00	0.83	0.67	0.67	0.67	0.67	0.67
再任用(人)	0.00	0.58	0.33	0.33	0.33	0.33	0.33
会計年度任用(人)	0.00	0.22	0.22	0.22	0.22	0.22	0.22
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

617 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0206
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 部局評価
 所属 1708 環境部北部クリーンセンター
 事務事業番号 04191 資源物等適正処理事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-15-65-00-03-00	資源物等適正処理事業費	環境部北部クリーンセンター

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)再商品化引渡数量	Kg	0.00	2,490,000.00	2,145,636.00	2,145,636.00	1,785,636.00	1,785,636.00	1,785,636.00
		0.00	2,277,790.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)プラスチック製容器包装ペットボトルペール品質検査結果	%	0.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		0.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	廃棄物関連の法律を遵守し、一般廃棄物を適正に処理できている		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	適正な再資源化がなされている		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	法に基づく指定法人へ委託することが効率的である。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	家庭ごみの適切な分別排出がなされている。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	現時点では中間処理施設等に搬入される一般廃棄物は適切な形で処理ができている。ただ今後は世界的なカーボンニュートラルへの取組、国内のプラスチック資源循環促進法の成立、新焼却施設の稼働など、取り巻く環境を社会的背景も含めて総合的に判断し、時代の流れに合致したより妥当な再資源化手法等処理方法に関して必要に応じて検討を加えていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	廃乾電池等市の施設で処理できない物、関係法令等に基づく再生利用を行う物について引き続き適正に関係法人等に引き渡すこととする。 一方でプラスチック資源循環促進法の施行など廃棄物を取り巻く状況の変化が続く中、法制度はもとより地域における再生利用の動向に注視しながら適正かつ合理的な処理に努めていく。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 部局評価
 所属 1708 環境部北部クリーンセンター
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 04191 資源物等適正処理事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)再商品化引渡数量	Kg	0.00	2,490,000.00	2,145,636.00	2,145,636.00	1,785,636.00	1,785,636.00	1,785,636.00
	指標説明	0.00	2,277,790.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		容器包装廃棄物は、容器包装リサイクル法の基本方針にて適切な処理を行える者に円滑な引渡しが求められるため、同法で指定している容器包装リサイクル協会に引き渡しを行うことにより再商品化を行っている。						
(成果)プラスチック製容器包装ペットボトル品質検査結果	%	0.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	0.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		容器包装リサイクル協会は、プラスチック容器包装、ペットボトルについては年に1回のボトル品質検査を義務づけており、その評価をA、B、Cで行っている。よってこの検査結果Aを100%の成果とする。						

事務事業評価シート（1/2）

619 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0207
 評価年度 令和 4年度
 所属 1711
 事務事業番号 01024

進捗区分 評価完了
 所属長名 野口 渡
 記入者 平野晋也

環境部衛生プラント
 衛生処理場運転管理事業

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	012	再生可能エネルギーの活用とごみの適正処理でクリーンなまちにし				
施策	032	循環型社会形成の推進				
取組の方向性	002	適正処理の推進				
事務事業	005	衛生処理場運転管理事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律					
事業概要	(事業概要) 市内で発生するし尿と浄化槽汚泥を適正に処理し、生活環境の保全と公衆衛生の向上、維持に努める。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	下水道の普及に伴い、市内で発生するし尿及び浄化槽汚泥の量は減少傾向にあるものの、生活排水処理基本計画における予測値（目標値）に対して実績値が上回っており、見込みほどし尿等の発生量が減少していない状況にあることから、施設の安全かつ安定した運転は必須であり、引き続き維持されなければならない。このことから、令和4年度に衛生プラント長寿命化総合計画を策定し、主要機器の更新や故障を未然に防ぐ予防整備を計画的に行うこととした。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市内で発生するし尿と浄化槽汚泥を
目的(何のために)	生活環境の保全と公衆衛生の向上維持するため、
手段(どのようなやり方で)	適切に維持管理が行われている衛生プラント（し尿処理施設）で、安全かつ安定した運転、処理することで、
成果(どのような状態にするのか)	生活環境の保全と公衆衛生の向上維持を確保する。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	288,227	270,762	236,749	236,979	260,738	259,858	255,784
事業費	264,333	256,334	222,321	222,551	246,310	245,430	241,356
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	264,333	256,334	222,321	222,551	246,310	245,430	241,356
人件費計	23,894	14,428	14,428	14,428	14,428	14,428	14,428
事務・技術(人)	2.39	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	1.54	0.88	0.88	0.88	0.88	0.88	0.88
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

620 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0207
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1711 環境部衛生プラント
 事務事業番号 01024 衛生処理場運転管理事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-10-30-46-00-04-00	衛生処理場運転管理事業費	環境部衛生プラント

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)し尿・浄化槽汚泥搬入量（1日当り）	k l / 日	29.70	30.30	28.87	27.47	26.10	24.75	23.45
		34.60	31.73	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)汚泥焼却灰処分量	t / 年	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00
		8.00	11.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)放流水の水質（BOD）（管理目標値以下の達成度）	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)放流水の水質（T-N）（管理目標値以下の達成度）	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	市町村の責務であるため。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	環境負荷の低減に寄与した。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	運転管理等を委託にて実施し、コストの縮小を図っている。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	生活環境の保全と公衆衛生の向上維持に貢献した。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	大津市全体のし尿及び浄化槽汚泥の発生量は見込みを超えて依然高止まりしている。また、南部衛生プラントの廃止に伴い、志賀及び北部衛生プラントのし尿等の処理量は増加し、結果志賀衛生プラントで発生する汚泥焼却灰処分量は令和3年度に対して増加となった。このことから、施設の維持管理を適切に行うため、令和4年度に策定した大津市衛生プラント長寿命化総合計画を確実に実行するとともに、今後も引き続き運転管理を適切に行うことにより、安全かつ安定した運転、処理を可能とするよう取り組んでいく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	依然としてし尿等の発生量は多く、衛生プラントの機能保全是必須となっているが、施設の老朽化が進んでいるため令和4年度に衛生プラント長寿命化総合計画を策定した。今後も引き続き、適正な維持管理及び整備工事を実施し、安全かつ安定した運転管理に努める。		

事務事業評価指標一覧

621 頁
令和 5年 9月 5日

評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
所属 1711 環境部衛生プラント
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
事務事業番号 01024 衛生処理場運転管理事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)し尿・浄化槽汚泥搬入量 (1日当り)	k l / 日	29.70	30.30	28.87	27.47	26.10	24.75	23.45
	指標説明	志賀及び北部衛生プラントのし尿・浄化槽汚泥搬入量						
(活動)汚泥焼却灰処分量	t / 年	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00
	指標説明	志賀衛生プラントから発生する汚泥焼却灰の処分量						
(成果)放流水の水質 (BOD) (管理目標値以下の達成度)	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	生物化学的酸素要求量 10 mg / l 以下に処理						
(成果)放流水の水質 (T-N) (管理目標値以下の達成度)	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	総窒素量 10 mg / l 以下に処理						